



小国中だより

小国町立小国中学校
令和3年1月26日
文責 八木幸夫

全国いじめ問題子供サミット

文部科学省が主催する令和2年度全国いじめ問題子供サミットに宮地祥成君（次期生徒会長）、杉山由菜さん（次期生徒会議長）、松田頼太君（次期生徒会副会長）が参加しました。サミットはコロナ渦を考慮し、Web会議システム（Zoom）を活用してのオンラインで開催されました。今年度は本校生徒会が県代表として参加しました。

令和2年度 全国いじめ問題子供サミット

いじめはどの子供にも、どの学校でも、起こり得る問題です。子ども達の中でいじめに関する意識を高め、いじめ問題に取り組んでいくことがいじめの未然防止、早期解決につながります。子供自身が交流を通していじめ問題を考え、意見交換することで、いじめ防止活動の中心となるリーダーを育成し、全国各地でのいじめ防止活動の一層の推進を図ることを目的に行います。

【実施日時】 令和3年1月23日（土） 13:30～16:10

【テーマ】 「いじめ」って何？～私たちが考える「いじめ」について知らないこと～

- ①「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればよいか考えよう。
- ②自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何かを考えよう。

参加した3名はタブレットを使い、教育相談室で電子黒板に映し出された全国の中学生のいじめ防止の実践発表を視聴し、テーマに沿った意見交換を行いました。意見交換は全国47都道府県の代表を3つのグループに分けての実施でした。多くの参加者があり、オンラインでのやりとりはなかなか大変だったようですが、全国の中学生の意見から学ぶところも多いサミットとなったようです。

本日の全校集会で3名からサミットの報告が行われ、杉山由菜さんが総括を行いました

「いじめ」とはどんなものなのか法律をしっかりと学ぶ必要があります。また、自分だけの考えではなく、相手の立場に立って何が「いじめ」なのかを考える必要があります。SNSやネットを活用して「いじめ」の知識を得たり、生徒、家族、先生方が一緒になっていじめについて考えたりする場を設けることも大切です。自分だけで抱え込まず、コミュニケーションを適切にとれるようにすることも大切だと考えました。

残念なことではありますが、小国中学校にもいじめがあります。心無い言動や悪ふざけが「いじめ」という刃となって人の心を傷つけています。SNS上の顔の見えないやりとりが誹謗

中傷となることもあります。今回のサミットを契機に、自分達の問題として、「いじめ」の未然防止の取り組みが、生徒会や学年自治会を中心に積極的に行われることを期待したいと思います。

令和 2 年度 卒業に寄せての全校合唱曲 「あなたへ」

「あなたへ」

作詞 筒井雅子

白木蓮にも似た
その白い翼で
まだ見ぬ世界、未来という
果てしない空へ
旅立つてゆくのですね
まばゆいほど輝いて
旅立つてゆくのですね
温かな巣をあとにして
愛と涙
そして知るだろう
人生という迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分
優しくなれることを
いろんなことがあつて
自分が嫌いになった
なぜ僕だけがこんな目に遭うと
人を羨んだりもしたさ
荒んだ心に刺さったのは
意外な奴の言葉だった
もう一度
もう一度
あゝ空を

張り裂けるような
悲しみの行き場
煮えたぎるような
憎しみの出口
時よ おまえは見えてきたのだろう
憎しみの極みを
戦いの果てを
時の女神よ
教えてください
握り合えない
手と手ならば
隔てる心の壁がいつか
癒やされなくなる日は
くるのでしょうか
手と手をつなぎ
その手をかぎそう
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分
優しくなれる
愛と涙
あなたの手の温もり
人生という名の迷路の果てに
信じ合えることの喜びと
悲しみを知った分
優しくなれる

〈 今年度最後の全校合唱について 〉

例年通りだと卒業式の中で全校合唱を行います。ことしは1、2年生が卒業式に参加することができないため、3年生を送る会（仮）の中で全校合唱を行います。全校合唱を通して、1、2年生は3年生への感謝の気持ちを、3年生は中学校生活最後の全校合唱なので心を込めて歌い、小国中生が一つになって合唱を作りましょう。

2、3年生は歌ったことのある曲ですが、1年生は初めて歌う曲です。今年度の集大成として最高の合唱を作り上げられるように、練習期間は限られていますが、全校生で頑張りましょう！！

1月26日生徒会執行部合唱担当「合唱だより」より抜粋